

(様式 1 - 3)

二本松市興交付金事業計画 復興交付金事業等（二本松市交付分）個票

平成 24 年 5 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	グラウンド照明設備整備事業	事業番号	A-2-1
交付団体		二本松市	事業実施主体（直接/間接）	二本松市（直接）	
総交付対象事業費		20,405（千円）	全体事業費	20,405（千円）	
事業概要					
<p>子どもの豊かな心や社会性を育み、子どもの健全な発達を支援する体制の充実を図り、健やかに、そしてたくましく育ち、また子どもを育てる親が安心して子育てをすることができ、子どもたちの学力・規範意識・体力の低下が懸念される中で、これからの人生を生き抜く上で必要となる確かな学力の習得や体力を向上させることのできる教育環境の整備促進を図るために、安達中学校の生徒がこれまで利用していた市営安達運動場が浪江町民の仮設住宅が設置されたことにより利用できない状況となってしまった。よって安達中学校グラウンドに夜間照明設備を整備する。</p> <p>○安達中学校グラウンドナイター照明設備整備事業</p> <ul style="list-style-type: none">・設計 5,230 千円・照明塔 2 基（@6,000） 12,000 千円・変電設備 3,175 千円 <p>※二本松市復興計画（P28）</p> <p>施策の柱 3 人づくり、地域づくり</p> <p>施策 1 （1）未来を担う子ども・若者を育てる</p> <p>取り組み事項 教育環境の整備・充実・学校屋外運動場照明施設整備</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度></p> <p>現地調査・学校等協議・設計・工事を実施</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災と福島第 1 原子力発電所事故に起因する放射能漏洩により大量の放射性物質が飛散した二本松市においては、最も放射能の影響を受けやすい子供たちの被ばく量を可能な限り低減させるために市内の小中学校では園庭等の表土除去を行った。</p> <p>また、浪江町の臨時役場を二本松市役所東和支所の一部を貸出して設置受け入れた。現在も市の運動施設や農村広場 11 箇所に浪江町住民用の仮設住宅 1,069 戸 2,009 人を受け入れている。特に安達地域では安達中学生をはじめ地域住民が多く利用していた地域内唯一の夜間照明設備のあるグラウンドに仮設住宅が設置されてしまい、夜間利用のできるグラウンドがなくなってしまった。また、病気にかかりにくい健康づくりのために、地域や年齢・性別、障害の有無等に関わらず、だれもがスポーツに親しめるよう、スポーツ環境の充実強化に対する市民ニーズは非常に高まっている。また、スポーツを通じて地域の絆を強め、地域コミュニティをさらに発展させるとともに、いつまでも健康で明るく活力に満ちた生活を送ることができるスポーツ環境の整備は急務である。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
<p>外部被ばく低減化対策事業として、市内すべての小中学校、幼稚園、保育所の校庭、園庭等の表土除去を行った。</p> <p>油井小学校：クラック補修、暖房設備復旧等（施行済）</p> <p>杉田小学校：クラック補修等（施行未済）</p> <p>二本松第三中学校：クラック補修等（施行済）</p> <p>安達中学校：クラック補修等（施行済）</p>					

二本松第二中学校：クラック補修等（施行済）

小浜中学校：クラック補修等（施行済）

東和中学校：クラック補修等（施行済）

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	